

1. 『移調』について

ギター等楽器の伴奏は、歌手の声域に合わせて演奏しないと台無しになる。

この『歌手の声域に合わせて調(ちょう;キー)を変える』ことを移調という。

例) C(ド・ミ・ソ)⇒D(レ・#ファ・ラ), C(ド・ミ・ソ)⇒E(ミ・#ファ・シ)

Am(ラ・ド・ミ)⇒Bm(シ・レ・#ファ), Am(ラ・ド・ミ)⇒Dm(レ・ファ・ラ)

※言葉が似ている「転調」は、同じ曲の中で、調(キー)を変えること。

●移調のやり方



因みに、ギターでは『全1音は2F(フレット)』、『半音は1F(フレット)』です

A B C D E F G A B C
2F 1F 2F 2F 1F 2F 2F 2F 1F

・例1) C(ハ長調)⇒D(ニ長調)への移調は、上の図で「全1音上げる」ことを指します。したがってC→D, D→E, E→#Fとなりますが、EとFの間は半音(0.5音、1F)のためEは半音(2F)を上げた#Fになる訳です。

・例2) Am(イ短調)⇒Dm(ニ短調)の移調は、上の図で「2.5音(5F)上げる」ことになり、A→D(上図でA・ラから2.5音=5F上げるとD・レ), D→G, E7→A7となります。

・実際のケース

今回の「イムジン河」ですが、お手元の楽譜は『F→Dm→B^b→F→』これを全1音(2F)上げてGに移調すると『G→Em→C→G→』になる訳です。

■逆にボーカルの声域が低くて、高音が出ない場合はキーを下げることもできます。

例)1音半(1.5音=3F)下げる場合『Fの1.5音(3F)下は鍵盤の図よりD、Dmは1.5下でBm、B^bの1.5下はG、ですから『D→Bm→G→D→』と移調することになります。

※Bグループの練習曲「道化師のソネット」は、原曲はGメジャーですが、声域が高過ぎて、年老いたさだまさしも今は歌えない高さです。そこで、3.5音(7F)下げて『Cメジャーに移調した楽譜』を作成した次第です。(これにCAP02を付ければ、原曲より2.5音低いDメジャー、CAP04では1.5音低いEメジャーになります)

2. コードの仕組み・からくり

楽譜には色々なコードが出てきますが、そこにはどのようなカラクリがあるのでしょうか？ 色々調べたところ、次のようなことが判りました。

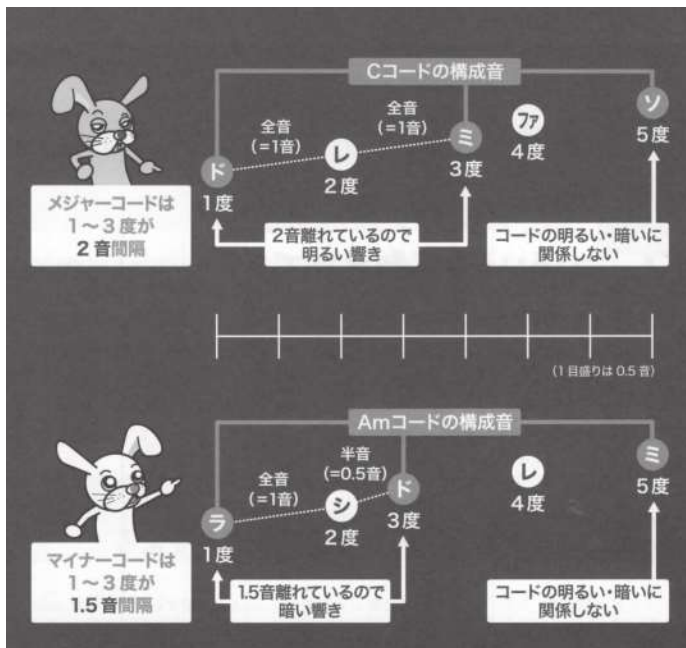


- 音階の読み方の一つですが、上の鍵盤に書き入れた数字のように、ルート音(C)から順番に 1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th, 7th と言い表すことがあります。この数字(日本語では1度、2度、3度...)でコードを表すと

3 和音(とびとびの3つの音の組み合わせ)

- 1度+3度+5度=ド・ミ・ソ ⇒ Cメジャー(ハ長調)
- 2度+4度+6度=レ・ファ・ラ ⇒ Dマイナー (ニ短調)

- 同じ3和音でも、M(メジャー)とm(マイナー)にはどのような違いがあるのか？



そのカギは3度(3th)音の位置にあります。

- 左図のように1度と3度が2音(4F)離れていればMメジャーになる。
- 左図下段のように1度と3度が1.5音(3F)離れているとmマイナーになる。

- つまりルート音の3度(3th)の位置によって明るい感じのMになったり、暗い感じのmになったりする訳です(前者をM3th、後者をm3thという)。

●さらに「sus4」などのコードも、下図のような仕組みから

	ド	レ	ミ	ファ	ソ
度数	1st	2nd	M3rd	4th	5th
C	○		○		○
Cm	○		m3rd ← ●		○
Csus4	○		● → 4th		○
C ⁻⁵	○		○		♭5th ← ●
Cm ⁻⁵	○		m3rd ← ●		♭5th ← ●
C ⁺⁵	○		○		● → ♯5th

ルート音がCの場合

← 3度がM3rdなのでC

ド・ミ・ソ

← 3度がm3rdなのでCm

ド・♭ミ・ソ

← 3度を半音引上げC sus4

ド・ファ・ソ

← Cの5度(5th)を半音引下げC⁻⁵

ド・ミ・♭ソ

← Cmの5度を半音引下げCm⁻⁵

ド・♭ミ・♭ソ

← Cの5度を半音引上げてC⁺⁵

ド・ミ・♯ソ

※「sus」はサスペンド;引き上げる。「サスペンダー」を連想すれば理解しやすい。

4 和音(3和音+7thセブンスの組み合わせ)

3和音(1, 3, 5度)の上に7度(7th;セブンス)を加えた和音であるが、
ルート音Cの場合で

1, 3, 5度+7度 = ド・ミ・ソ・シ ⇒ CM7 (Cメジャーセブンス)

1, 3, 5度+♭7度 = ド・ミ・ソ・♭シ ⇒ C7 (Cセブンス)

	ド 1st	レ	ミ M3rd	ファ	ソ 5th	ラ	シ 7th	ド 8st
C	○		○		○			
CM7	○		○		○		●	
C7	○		○		○	●		

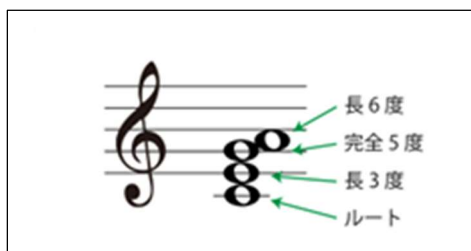
※CM7 (Cメジャーセブンス) とC7 (Cセブンス)は全く異なる和音なので間違えないこと。ルート音ド(1st=8st)の半音下のシを組合せればCM7 (メジャーセブンス)
1音下の♭シを組合せればC7 (通常のセブンス)と覚えればよい。

特殊なコード；次のコードも仕組みを理解すればさほど難しいことではない。

6 (シックス)

長三和音 (ルート、長3度、完全5度) に
長6度の音を加えた構成の四和音

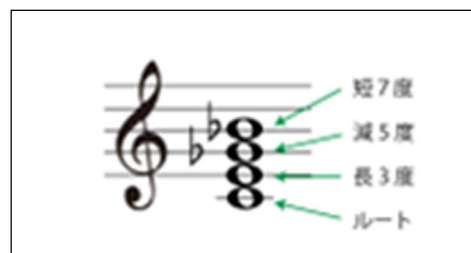
ルートがCの場合の6(シックス)C6 ⇒



7-5 (セブンスフラットファイブ)

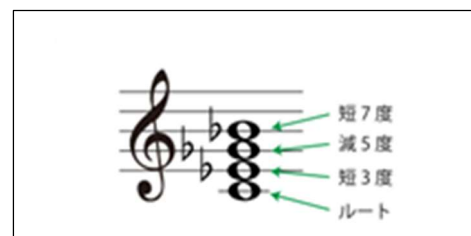
「ルート、長3度、減5度、短7度」から
なる四和音。

「ドミナントセブンスフラットファイブ」
と言ったり、7(b5)と書くこともあり



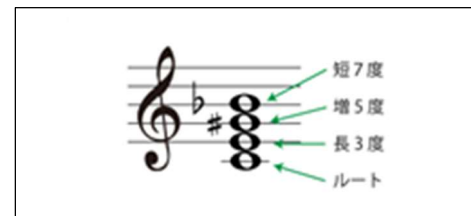
m7-5 (マイナーセブンスフラットファイブ)

「ルート、短3度、減5度、短7度」から
なる四和音。m7(b5)と書くこともあり



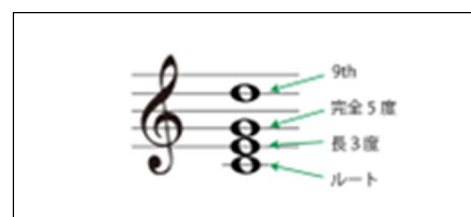
aug7 (オーギュメントセブンス)

セブンスコードの完全5度を半音上げた
構成音 (ルート、長3度、増5度、短7度)。



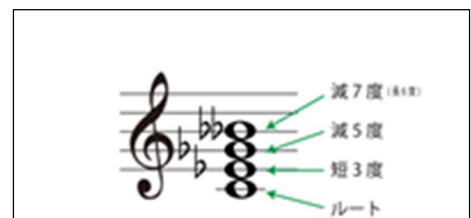
add9 (アドナインス)

「ルート、長3度、完全5度、9th」のコード
である。文字通り長三和音に9thを足した
形であり、7度(7th)の音を含まない。



Dim (ディミニッシュ)

「ルート、短3度、減5度、減7度」(減7度は長6度と同音)。音程が1.5音間隔で均等に
並ぶため構成音のパターンは3種類のみ。



● オンコード (分数コード)

今までの和音では、ルート音は常にAであれば「ラ」(Am, A7, Asus4等を含む)、
Bなら「レ」、Cなら「ド」になるが、このルート音を変化(分母に)させたコード。
道化師のソネットでは、A7/C#, Dm7/C, G7/B, Dm7/G等が繁用されている。 以上